

佐久市子ども・子育て支援拠点施設ワークショップ記録

ワークショップ開催日：2024 年 7 月 2 日（火）

○ワークショップで出た意見のうち、参加者が○印をつけた「特に大事だと思うもの」を抜粋

【午前：新たにできる拠点での子どもと親に関わる「相談支援」について】

＜どのような機能があるといいか？＞

- ・その日の相談担当がわかるように
- ・ファーマーズマーケット
- ・イベントがある。季節のイベント
- ・開場時間 6:30～19:30 だったらいいな～（土日も）
- ・休日にも相談員がいるといいな
- ・時間外の電話などでの対応
- ・人と人をつなげる役、コミュニティーマネージャー
- ・入り口で迎えてくれる♡ 孤独にさせない
- ・コンシェルジュを配置。初めて行く人は緊張していたり、何をどう相談したらよいのかわからない方もいらっしゃると思うので。
- ・今こそおせっかい！
- ・外国籍の方も気軽に相談できる窓口の設置
- ・できれば土・日曜日でも開館していると相談しやすい
- ・誰でも安心できる居場所、ほっとできる場所
- ・お父さんも子育てに参加しやすいように男性職員
- ・相談員とゆるく楽しくつながる場、または交流会など（カウンター越しでない）
- ・行政だけで解決しようとしめない。色々な団体と協働できる体制
- ・養護施設との連携
- ・子育てサークルが活動できる場所をお借りしたい
- ・乳幼児の一時預り、もう少し具体化があると良い
- ・児童館空いてる時間活用
- ・自由に使えるシェアスペース（もちろん無料で）
- ・いつでもコーヒーやお茶が飲める。例：さくほっこ
- ・親同士関わる話せる場（悩みとか…）
- ・情報発信（集約）助けを求める人へいろんな団体、活動
- ・相談している間子供をみてくれる（個別、etc）

- ・離乳食の自動販売機設置
- ・役所内の連携機能
- ・相談の専門職（行政）にペアレントメンター等親（経験してきた人）の配置をしてほしい
- ・専門性のある相談員だけでなく、先輩父母地域の方と交流
- ・メール、LINE、オンラインなど色々な形で相談できる
- ・いろいろな相談方法を選んで相談できる
- ・有料でもいいから誰かが作ってくれたあったかいごはんをゆっくり食べられる場所
- ・ママの仮眠スペース（子どもは別室であずかってくれる）
- ・寝落ちのためのマッサージチェア（フルフラット）
- ・子どもの成長とともに喜んでくれる人
- ・1階交流2階相談に

<どのような連携ができるといいか？>

- ・行政が受けた相談を民間の地域資源（サービス）につなげる
- ・民間で活動している個人団体の気軽な相談窓口
- ・市民活動するにあたっての会場の問題。参加費とると会場費高い。
- ・民間を上手に使おう！
- ・支援団体が定期的集えるような声かけ、音頭とり
- ・子育て支援団体と行政とのネットワーク会議
- ・場所を借りられれば相談にふらっと来た保護者を関係各所につなげたい。ハブ拠点
- ・お互いに子どもを見る、マッチングアプリ。互助育児。連れてくよーみてるよー食べてるよー
- ・まち全体を支援ある地域に、しみだす
- ・イベントの企画や運営に係れる場
- ・子の年代別の交流会（子育てサロン）
- ・保育士と行政が意見を出し合える場があったら嬉しい
- ・市民活動団体と個人がつながれるような連携
- ・いろんな人と出会って、みんなで話して解決できる、誰とでもつながれる
- ・教育委員会との連携
- ・障がい福祉との連携（早めに！）
- ・情報収集拠点
- ・曜日交代でもいいので、色々な種類のセラピーが受けれる（カウンセリングなど）市でなくて一般の人（フリーの人）
- ・子ども食堂の連携
- ・交流会意見交換会月1回
- ・成長の過程にあわせた（例：学校や就職 etc）活動に対してのフォローができるように
- ・協働コーディネーターを配置（だれでもすぐ連携できるわけではない…）

- ・多職種のれんけい（医療、学校、福祉 etc）
- ・連携ができるための情報提供をアプローチ（相互に）、実施
- ・当事者の「先輩」と話せる場（不登校、発達障がいなど）
- ・専門職だけでなく個人や活動している人子育て中の方との橋渡し
- ・市民活動団体の一覧の提供行政からも紹介して欲しい…
- ・個人で活動している方いばしょを検索、紹介
- ・大学生との連携※相談のハードル低く

<その他>

- ・不登校の子供も堂々と来れる所が欲しい
- ・ジェンダーの文字、LGBTQ
- ・軽度も重度も障害児は増えています。一緒に利用できるユニバーサルデザインが逆にバリアとなる危険もあります。特別な配慮も検討して下さい

【午後：新たにできる拠点での「遊び」について】

<どのような機能があるといいか？>

- ・未来を考えられる夢とかを話せる場
- ・昔あそび体験
- ・伝統の遊びとか体験できる
- ・異年齢交流、退職後のスキル持っている方、子ども好きな方
- ・未就学児～小中学生くらいまでの人が安心安全に活動できる
- ・1人で静かに没頭できるスペース
- ・遊びに没頭できる空間
- ・一人でもグループでも使用できる、一人の場合周りを気にしなくてすむ
- ・みんなでもあそべる、1人でもあそべる、やりたいことが尊重される
- ・親世代の学び・交流+子どもワークショップ（別々に開催）
- ・季節に合わせた遊び
- ・ケガへの対応 思い切り遊べるために
- ・遊んでいてついケガをしてしまったりした時の応急処置的なのができる
- ・コーナーごとに大人がいる
- ・完全開放日 全館誰でも使える日
- ・障がいがある子も楽しめる環境しかけ作り
- ・片づけなくてよい次の日に持ちこせる場
- ・行政と団体が連携できる体制

- ・横のつながりをつくるコーディネーター
- ・スタッフ（受付）なおやマン
- ・多世代交流も必要。ボランティアとして中高校生や高齢者
- ・内覧会施設ツアー
- ・家庭菜園的な…
- ・物を作ったり壊したりしても良い
- ・かべや床に好きに落書き（お絵かき）できるスペース
- ・水あそびスペースで水風せん投げるあそび場
- ・空き箱やラップの芯とか持ってきて入れとく場所→使って工作
- ・中高生、若者が子育て現場で力を活かす
- ・ひみつきちがつくれるような遊び場（プレイパーク的な）
- ・遊びの達人リーダー養成
- ・1階2階ともにこどもが遊べるスペースにして、走りたい子も遊べる場に

<どのような連携ができるといいか？>

- ・民間との連携
- ・小・中・高・大学生などとの連携
- ・地域の人の関わり（おとしより、お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、誰でも）
- ・シニアとの連携
- ・地域の人お年寄りなどと一緒に遊べる場に
- ・地域のお年寄りや大人のひとと遊べる様な交流できるように
- ・様々な年代の人があそんでくれるといいなー。おばちゃんのお手玉、じいちゃんのけん玉とか
- ・地域の大人と交流しながら遊べる
- ・ボランティアで見守っていてくれる人。ママが目を離さず見ないといけないというじゃない
- ・不登校の子も安心して利用できて学習もできる（希望あれば）思いっきりあそべるスペース、個室
- ・子どもの夢、年1でもいいからリクエストきく。やってみたいことをきいて実現できる講座。例えばバック転できるようになりたい→先生を呼んで講座やる
- ・野菜育てる+食育
- ・たらい回しにならない相談窓口
- ・市民団体専門コンシェルジュ
- ・すぐには連携できないよね?! 協働コーディネート（行政でなく、民間や団体フットワーク・ネットワーク）
- ・子育て当事者として人材をつなげることができる
- ・イベント企画等、色々な団体でつくれたらいいな。多世代つながる日
- ・こどもカフェ。こどもだけで作って、お店をOPENしたりできる場

- ・野沢の花火大会の日に施設内でゆかた着付け、ヘアメイク、露店など祭りを盛り上げ、ひろばでも見れるように
- ・市民活動、支援団体交流スペース
- ・情報交換の掲示板（大きなもの）つくってほしい
- ・民間の子供・子育て向けサービス情報共有掲示板壁一面
- ・広報、周知大事！

<その他>

- ・子育ての手抜き（保護者がたまには楽してもいいよネ!!）
- ・子どもをまんなかにおいて保護者（大人）が周りで見守っているのんびりスペース
- ・場所ではなく、「人」